

日本の風土、文化、時代の感性が調和 あたらしい家「校倉」で都市にも木造建築 「融通無碍なる家づくり」

伊佐ホームズ

「日本の家」をコンセプトに、伊佐ホームズ(世田谷区瀬田、伊佐裕社長、03-37708-3313、<http://www.isahomes.co.jp/>)は注文住宅を約700棟手がけている。

「もつとも大切なのは、住まう方々の希望する家をつくること」と伊佐社長が語るように、お客様のご要望を十分に踏まえつつさらに発展させる設計士と、匠の技を持つ棟梁が1軒1軒プロジェクトチームを結成し、何度も打合せを重ねていく。一貫した設計・施工で家づくりを進め、お客様の納得のいくフォルム・空間・質感にまでこだわった注文住宅を提供している。

構造は、木造・鉄筋コンクリート造など敷地に合わせて決定し、内装には、木・土・石・紙など自然素材を組み合わせながら、最新技術を採用入れ耐震性・防火性も備えている。特に、積層させた厚い杉板を使用する同社の商品「あたらしい家」校倉」は特許も取得し、都市においても本物の木材を外壁に使用できる点が強みである。平成27



「あたらしい家「校倉」」では、外壁に国産の杉材を厚さ30mm使用し施工



モデルハウスも兼ねた本社。築28年の時が経過し、より味わいを増す



駒沢の「ギャラリー棟(くぬぎ)」では各種イベントを開催。多くの人が集まる

年度にウッドデザイン賞審査委員長賞を受賞したこの家づくりは一般住宅だけでなく、大田区の大寺院の宮殿や箱根の旅館などの木造建築にも活かされている。

また、お客様とのご縁を大切にしており、駒沢にある「ギャラリー棟」(目黒区東が丘)にて美術展覧会やコンサート、児童絵画コンクールなどを開催したり、年2回発行している「伊佐通信」という小誌で暮らし・趣味・人物紹介・イベント案内を掲載したり、お客様同士が交流できるきっかけになるような活動を続けている。